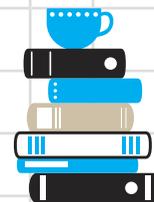


令和  
7年度

# 事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS 発達支援センター鹿児島



○事業所名	COMPASS発達支援センター鹿児島		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 10日		～ 令和7年 9月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 5日		～ 令和7年 9月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 10月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れて、計画書や日々の療育に取り入れてております。	各担当毎に事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。複数の地域に事業所があるので、不明な点などは指定権者に確認をし、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	ご利用者様が楽しみながら通っていただける事業所、成長を感じられる事業所、安心して通っていただける事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでまいります。
2	専門的な視点を活かし、適切な支援の提供と保護者支援をおこなっております。	年間計画に基づき、支援の質を向上させるために研修を実施しております。	ご家庭との連携を充実させ、支援内容を共有しながら児童の成長を促しております。
3	多機能型事業所の特性を生かし、幅広い年齢層の児童が関わる機会を設けております。	幅広い年齢層の児童が集団活動を通して協調性や思いやりの心を育めるよう支援しております。	集団での経験を重ねることで、他者との適切な距離感や関わり方の理解を促してまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の機会が少ない。	利用児童の安全面・感染症・個人情報などを考慮し、実施できていない状況となっております。	地域の公共施設や関係機関と連携し、地域交流の情報収集に努め交流機会が制限されないようにしてまいります。
2	保護者同士の交流の機会が少ない。	プライバシー(個人情報)の保護。 過剰干渉の抑制(適切な距離感) 交流の機会を望むご家庭もあるが望まないご家庭も多く、開催できていない状況であります。	少人数でのグループイベントなどを検討し、参加しやすい状況を作っております。
3	個別対応のためのスペース(個室)が十分に確保することが難しい。	施設の構造上分割化および個室化ができない状況があります。	パーティションなどを用いて個別対応の際に活用してまいります。 活動スペースの構造化と発達状況によって使用するスペースの分割化をおこなってまいります。



公表日：令和8年2月17日